

事業名	長浜市少年スポーツ交流事業
-----	---------------

総事業費	767 千円
------	-------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	社会教育の充実
	基本事業名	青少年の健全育成

② 実施 (Do)

事業の意図		両市のスポーツ交流を通じて信頼と友情を築き、青少年が豊かな心身を育むことができる
事業の実績 と成果	取組内容	長浜市にて4年ぶりに交流事業を開催した。
	成 果	団員8名、役員5名が訪問し、様々な行程を通して交流を深めることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	年々参加者が少なくなってきたおり、交流事業内容等の検討が必要。ホームステイ形式についても見直しを検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	・ 青少年の健全育成には体験型活動が有意義だと考える。当事業は友好都市をきっかけにこれまで長い交流の歴史があり、お互いの異年も齡集団が、お互いの異文化等にふれることで、貴重な体験を通してながら親交を深めてきている。 ・ 年々参加者が少なくなっている要因のひとつに、ホームステイもあるようである。継続的な事業を図る上において、事業内容の見直しを考える時期に来ているのではないかとと思われる。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	本年度は本市にて受け入れを行う。
-----------	------------------

事業名	ふるさとまなび～隊開催事業
-----	---------------

総事業費	42 千円
------	-------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	社会教育の充実
	基本事業名	青少年の健全育成

② 実施 (Do)

事業の意図	様々な体験活動を通して、ふるさとの自然や文化などを学び、また異年齢で交流することで豊かな人間関係や規範意識、社会性を養う	
事業の実績 と成果	取組内容	令和5年度は、コロナが第5類へ移行したことに伴い、20名としていた募集定員をコロナ禍以前の30名に戻しての活動を行った。活動は、年間8回計画し、全てにおいて事故等なく無事終えることが出来た。
	成 果	令和5年度は、募集定員をコロナ禍以前の30名とし、年間8回活動を行った。全体を通して、活動に意欲的な児童が継続して参加しており、隊員が固定化されていると感じたが、活動内容によっては、新規で参加する児童も見られ、活動ごとに募集を行う良さを感じた。また、まなび～隊は、様々な学校の児童が集まる、異年齢活動であるため、活動を通してコミュニケーションを取り合い、友達を作る様子が見られた。参加者や保護者から高評価をいただいております、本事業の需要は大きいと考える。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	概ね順調に実施できていると思うが、参加する児童が固定化されている面もあるため、現在参加したことがない児童にも興味を持ってもらえるような活動を企画していきたい。また、人気の活動は毎年抽選となってしまうため、実施方法を工夫して、可能な限り応募した児童が参加できるように検討していきたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	・昨年度より10名募集定員を増やし、30名で8回の活動を事故なく終えることができた。子どもたちの感想を見ると、楽しんで満足しているようである。今後は、人気メニューは残しながらも、子どもたちのアンケート結果も参考にしながら、活動内容を検討していく必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	昨年度の反省点を踏まえ、令和6年度も子どもたちが楽しめる活動を事故等に注意しながら実施する。また、コロナの影響により休止していた宿泊体験活動を実施予定としており、それに併せて「中1ギャップ解消事業（小学6年生を対象）」を行うことで、中学校での不登校や引きこもり等改善の一助となるよう学校教育課と協力して活動したい。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	【第2回ふるさとまなび～隊：校区探検バスツアー】 第2回は「校区探検バスツアー」をしました。 今年度は、市内南部（古田・中割・立山・安城）の文化財について、子どもたちと一緒にビンゴゲームをしながら巡り、学びました。とても暑中での活動になったが、4校区の歴史や文化について学ぶことができる魅力ある活動ができました。子どもたちからは、「ビンゴやクイズで歴史などを学ぶことができた」「夏の自由研究に活かしたい」「今日聞いた昔話などを家族にも話したい」などの声が聞かれました。



【第6回ふるさとまなび〜隊：ナイトミュージアム】

第6回は、ナイトミュージアムをしました。

普段は立入禁止の「収蔵庫」の見学、「土器文様体験」、「方言クイズ」、「企画展（下野敏見展）」など様々な活動をしました。予定していた「星空観察」はあいにくの天気で出来ませんでしたが、「星空クイズ」に変更して、星について学ぶことができました。参加者からは、「粘土にいろいろな模様をつけたのが楽しかった」「家紋を書くのが楽しかった、家に帰ったら家紋を親に聞いてみたい」などの声が聞かれました。



【第8回ふるさとまなび〜隊：郷土菓子を作ろう！】

第8回は、第7回で作った黒糖を使い郷土菓子を作りました。

食生活改善推進員の榎本和枝さんと落合ミチヨさんを講師に迎え、ふくれ菓子やしゃにんだんご、黒糖まめ（黒糖のりんかけ）の3種類の郷土菓子を作りました。それぞれの班に分かれ、みんなで協力しながら作ったお菓子は、とてもおいしく出来上がりました。参加者からは、「出来たての黒糖まめを食べたら、いつもの5倍おいしかった」「しゃにんだんごに月桃の風味もほんのりついていて、おいしかった」「家でも作ってみようと思う」などの声が聞かれました。